2026 年 4 月 17 日

課題名：皮弁を用いた骨盤再建術後の離床方法について

◆研究の目的と概要◆

当院リハビリテーション科では、皮弁を用いた手術後の離床方法ついて調べています。本研究では、安全な離床方法の確立を目指し、今後のよりよいリハビリ診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2020 年 4 月から、2026 年 2 月までの間に外科に入院し，皮弁を用いた骨盤再建術を実施された方。

◆研究に使用される情報・試料◆

年代，性別，術前の生活能力・歩行状況，病名，手術名，皮弁のタイプ，術後の安静度制限・期間，離床時期・離床方法

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2026 年 5 月 14 日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録等からの情報を利用します。

＊　研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。

＊ 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合せ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合せ先】
公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構　倉敷中央病院
リハビリテーション科　研究責任者　山田裕子
E-mail：　kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換ください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難であるとの理由が認められ、倫理的観点及び科学的観点から実施についての承認、また当院院長の許可が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
  （他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明